

4 学年 2 組 国語科学習指導案

児童 男子13名 女子19名 計32名
 指導者 主濱 一華

- 1 単元名 読んで考えたことを話し合おう
 学習材 「ごんぎつね」 新美 南吉 (光村図書4年)

《付けたい力》

- ◎ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気づくこと。(読オ)
- 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化情景などについて叙述を基に想像して読むこと。(読ウ)

読んで考えたことや話し合ったことを基に「ごんぎつね」パンフレットを作り発表する。

2 単元について

(1) 児童について

児童は、「C読むこと」の指導事項ウとオの力を付けることをねらった単元としては、「白いぼうし」「一つの花」で作品を象徴するような言葉の意味を考えたり、登場人物の心情をとらえたりする学習を経験してきた。また、文章の叙述との考えを関連付けて交流する活動を経験してきている。

児童は、文章の叙述を基に自分の考えを持ち、伝え合うことに楽しさを感じる児童も増えてきている。話し合いも意欲的に活発に行われるようになってきた。しかし、叙述に即して具体的に想像する力については個人差があり、自分の考えを話すことに苦手さを感じている児童もいる。文章を読んで、一人一人の感じ方には違いがあり、多くの友達の感じ方に触れることを通して、物語の世界を具体的に描いたり、登場人物の変容を読み取ったりして作品がもつ魅力を味わわせたい。

(2) 学習材について

学習材である「ごんぎつね」は、ひとりぼっちの「ごん」と母を亡くした「兵十」が交流していく中でそれぞれが変容していく物語である。場面は六つで構成されており、場面を追うごとに「ごん」の言動の変化が描かれている。叙述を基に登場人物の心情を読み取ることに適した学習材である。また、物語の結末はこれまでの学習材とは異なるもので、感じ方も多様になると予想される。また、情景描写においても優れており、音・光・色に関するもの、心情把握のための伏線となる効果的な表現が随所に散りばめられている。児童が優れた叙述に着目しながら自分の考えをまとめていくのに適した学習材である。

(3) 指導について (研究内容との関わり)

① 追求することで課題を解決し、児童の学びが広がったり深まったりするような課題の設定

児童が必要感をもって解決したいと主体的に学習に関わっていくことができるように、第一次では、「ごんぎつねパンフレット」を完成させる言語活動を行うことを提示する。続きの話を考えることや目的や内容を確認したり学習計画について話し合ったり、明確な学習の見通しをもったりすることができるようにする。

② 自分の考えと比較し、自分の考えが広がったり深まったりする対話の工夫

グループで対話を行う際には、その目的や児童の実態に応じて意図的にグループを構成し、手引きを基に児童が必要感をもって進んで対話活動に取り組むことができるようにする。

③ 学びの過程はどうだったのかを自覚できるような手立ての工夫

学習課題と振り返りを一枚のシートにまとめ、学びの過程を視覚的にも実感できるようにする。振り返りの観点を示し、学びをより実感させやすくする。

3 単元の指導目標

- 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して進んで発表しようとする。 【関心・意欲・態度】
- ◎ 文章を読んで、考えたことを発表し合い、互いの考えの共通点と相違点を考えながら話し合うとともに、一人一人の感じ方の違いに気づくことができる。 【読むこと】
- 考えたことが文章に表れているか見直すとともに、書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を伝え合うことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

4 単元の評価規準

| 国語への 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての 知識・理解・技能 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して進んで話し合おうとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章を読んで、考えたことを発表し合い、互いの考えの共通点と相違点を考えながら話し合うとともに、一人一人の感じ方の違いに気づくことができる。 (読オ) ・ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化を読み取ることができる。 (読ウ) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えたことが文章に表れているか見直すとともに、書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を伝え合うことができる。 (伝国イ(ア)) |

5 単元の指導計画・評価規準 (全13時間)

| 次 | 学 習 活 動 | ○主な指導上の留意点 ◆評価規準 <評価方法> |
|---|--|---|
| 一 | ① 学習計画を立て、学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のゴールを確認して、学習計画を立てる。 ・ 学習材「ごんぎつね」を聞き、初発の感想や疑問点を書く。 | ○ パンフレットのモデルを基に学習のゴールの姿を具体的にイメージさせるようにする。 ◆ 物語に興味をもって聞き、自分なりの感想をもっている。 【関・意・態】<態度・発言・ノート> |
| 二 | ② いたづらをするごんの気持ちを読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定を確認する。 ・ 叙述を基に登場人物の心情を読む。 ③ 兵十のおっかあが死んだことを知ったごんの気持ちを読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 叙述を基に登場人物の心情を読む。 ④ いわしを投げこむごんの気持ちを読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 叙述を基に登場人物の心情を読む。 ⑤ ひどい目にあわされた兵十を見たごんの気持ちを読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 叙述を基に登場人物の心情を読む。 ⑥ 兵十と加助の話聞いたごんの気持ちを読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 叙述を基に登場人物の心情を読む。 | ○ 叙述を基に考えをもつことができるようにワークシートの工夫を行う。 ◆ 会話や行動描写、情景描写など根拠を明らかにして心情を読み取ることができる。 【読ウ】<学習シート> ◆ 自分と友達の考えや感じ方を比べ、違いに気づくことができる。 【読オ】<発言・学習シート> |

| | | |
|---|---|--|
| | <p>⑦ ぐったりと目をつぶったままうなずいたごんの気持ちを読み取る。〈本時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 叙述を基に登場人物の心情を読む。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 叙述を基に考えをもつことができるようにワークシートの工夫を行う。 ◆ 会話や行動描写、情景描写など根拠を明らかにして心情を読み取ることができる。 【読ウ】〈学習シート〉 ◆ 自分と友達の考えや感じ方を比べ、違いに気づくことができる。 【読オ】〈発言・学習シート〉 |
| | <p>⑧ 兵十の気持ちの変化や変容を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごんの言動や心情と重ねながら、兵十が変容した場面を話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 叙述を基に考えをもつことができるようにワークシートの工夫を行う。 ◆ 会話や行動描写、情景描写など根拠を明らかにして気持ちの変化や変容を読み取ることができる。 【読ウ】〈学習シート〉 ◆ 自分と友達の考えや感じ方を比べ、違いに気づくことができる。 【読オ】〈発言・学習シート〉 |
| | <p>⑨ 読んで考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ くわしく読んで分かったことや感じたことについてテーマを決めて話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 感じ方が分かれたことの中から、テーマを提示する。 ◆ 自分の考えをもって、意欲的に話し合おうとする。 【関・意・態】〈発言・学習シート〉 ◆ 自分の考えと比べながら、友達の発言を聞こうとする。 【読オ】〈発言・学習シート〉 |
| 三 | <p>⑩⑪ 「ごんぎつね」パンフレットを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的や意図を確かめ読み取ってきたことをまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ごんぎつね」を読んで感じたことや考えたことについて、パンフレットにまとめる事柄を提示する。 ◆ 読み取ったことを活かして、自分の考えを書いている。 【関・意・態】〈学習シート〉 |
| | <p>⑫ 「ごんぎつね」パンフレットを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレットを交流して、自分と友達の感じ方の違いを伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 交流しやすいような場の設定を行う。 ◆ 自分と友達の考えや感じ方を比べ、違いに気づくことができる。 【読オ】〈発言・学習シート〉 |
| | <p>⑬ 「思う」と「考える」の二つの言葉の使い分けについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「思う」と「考える」が使われている文を書きだしたり、使い分けを話し合ったりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ごんぎつね」の文章から、意味がよく似た二つの言葉の使い方の違いを理解させる。 ◆ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 【伝国】〈発言・ノート〉 |

6 本時の指導

(1) 目標

ぐったりと目をつぶったままうなずいた時のごんの心情を読み取ることができる。【読ウ】

(2) 展開

| 学習活動 | ・指導上の留意点 ◆評価 <評価方法> |
|--|---|
| 1 学習計画を確認する。 2 本時の学習課題をつかむ。 | ・ 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ぐったりと目をつぶったままうなずいたごんが兵十に伝えたかったことはどんなことだろう。 </div> | |
| 3 学習の見通しを確認し、音読をする。 | ・ 学習のゴール、学習内容、学習プロセスを確認し、児童が主体的に学習に関わることができるようにする。 |
| 4 学習課題を解決する。 (1) ごんの心情が読み取ることができる文や言葉に着目する。 ・ 自力解決 ・ グループ ・ 全体 (2) ごんの心情の変化を考える。 (3) 課題に対する自分の考えをまとめる。 | ・ 心内語を中心として、ごんの心情を具体的に考えられるようにする。 ・ 叙述を基に根拠を明らかにして、心情を考えさせる。 ・ 交流学习では、自分と友達の考えや感じ方の違いに気づかせるようにする。 ・ 情景描写や挿絵にも着目させ、場面の様子とも関連づける。 ・ ㊦の場面からのごんの行動と心情の変化を確認し、板書でまとめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ◆ ぐったりと目をつぶったままうなずいた時のごんの心情を読み取っている。 <div style="text-align: right;">【読ウ】 <発言・学習シート></div> </div> |
| 5 本時学習を振り返る。 | ・ 学習内容や学習プロセス、交流のよさなどを振り返り、自分の学びを自覚することができるようにする。 |
| 6 次時の学習を確認する。 | |

(3) 評価

| 評価規準 <評価方法> | ◆ぐったりと目をつぶったままうなずいた時のごんの心情を読み取っている。 【読ウ】 <発言・学習シート> |
|----------------|---|
| 記述例 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ぐったりと目をつぶったままうなずきました。」から、いたずらして、うなぎをおっかあに食べさせてあげられなくてごめんね。一人ぼっちにさせてごめんね。という気持ちを伝えたかったと思う。 ・ 「ぐったりと目をつぶったままうなずきました。」から、おれがくりや松たけをもってきたんだよ。分かってくれたよね。分かってくれたことがうれしいから死ぬことも平気だよ。ということを伝えたかったと思う。 ・ 「その明るる日も、ごんは、くりを持って、兵十のうちへ出かけました。」から、くりや松たけは神様のしわざじゃないぞ。おれだよ。兵十に分かってほしかったんだよ。おれだって分かってくれてありがとう。と伝えたかったと思う。 (ごんの言動や会話文から、兵十への気持ちを読み取り書くことができる。) |